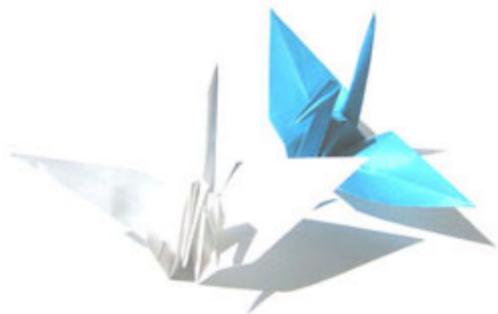


平和についてもう一度考えてみませんか

平成18年度平和関連事業

鎌ケ谷市は、核兵器の廃絶と軍縮を訴え、さらに世界の恒久平和を実現していくため、「非核平和都市宣言」を昭和59年7月2日に行いました。今年も、市及び市民団体の主催で平和関連の事業を開催いたします。今年、市で購入した原爆写真パネル「原爆と人間展」を活用した展示を中心に、戦争の悲惨さや苦しみ、悲しさを若い世代に語り継ぎ、平和を守り抜くことの大切さ、生命の尊さを訴えていきます。この夏、平和の大切さについてあらためて考えてみませんか。



とき 平成18年7月15日(金)～8月30日(水)

ところ 鎌ケ谷市役所本庁舎、イオンジャスコ鎌ケ谷店 及び 市内各公共施設

入 場 無 料

プログラム

とき	内容・時間	ところ	主催団体
7/15(土) ～17(月)	2006年「夏」平和イベント 平和のための戦争展 9:00～17:00	中央公民館	鎌ケ谷平和イベント実行委員会 後援: 鎌ケ谷市 鎌ケ谷市教育委員会
7/15(土)	2006年「夏」平和イベント シンポジウム「自然と調和した住みよい街づくり」 13:30～	視聴覚ホール (イトーヨーカドー鎌ケ谷店隣り 三橋記念館地下)	
7/16(日)	2006年「夏」平和イベント 映画会「ガラスのうさぎ」 9:30～ 11:30～ 13:30～ 15:30～	中央公民館 (イトーヨーカドー鎌ケ谷店隣り 三橋記念館)	
7/31(月) ～8/11(金)	「原爆と人間展」パネル展示 8:30～17:00 折鶴コーナー・関連ビデオ上映	鎌ケ谷市役所 1階市民ホール (5(土)・6(日)は休み)	鎌ケ谷市
7/31(月) ～8/11(金)	「原爆の画」の展示 8:30～17:00	鎌ケ谷市役所 1階市民ホール (5(土)・6(日)は休み)	鎌ケ谷市原爆被爆者折鶴会 後援:鎌ケ谷市
8/1(火) ～30(水)	平和図書展 9:00～20:00 (月曜日休館 日曜日は17:00まで) 『ガラスのうさぎ』『ひろしまのピカ』などの図書を展示します。	図書館本館 1階は一般向け 2階は児童向け	鎌ケ谷市教育委員会(図書館)
8/1(火) ～15(火)	丸木位里・俊「原爆の図」写真パネル展 8:30～22:00 写真パネル展示(10日に一部入替えあり) 最終日は19:00まで	東部学習センター 1階ギャラリー (休館日 なし)	かまがやの地方自治をつくっていく会 後援:鎌ケ谷市
8/7(月) 8/9(水)	平和関連ビデオの放映 はだしのゲン(アニメ 90分 青少年・一般向け) 10:00～ はだしのゲン2(アニメ 90分 青少年・一般向け) 14:00～	鎌ケ谷市役所 1階市民課前待合所 (大型テレビ)	鎌ケ谷市
8/16(水) ～22(火)	2006年「夏」平和イベント 平和への展示 最終日は12:00まで	イオンジャスコ鎌ケ谷店 1階市役所側エスカレーター 付近	鎌ケ谷平和イベント実行委員会

問い合わせ 鎌ケ谷市総務課 047(445)1141 内線331・332
 鎌ケ谷市教育委員会(図書館) 047(443)4946
 鎌ケ谷平和イベント実行委員会 047(412)2058(代表 滝口)
 鎌ケ谷市原爆被爆者折鶴会 047(444)3211(代表 吉富)
 かまがやの地方自治をつくっていく会 047(445)6470(代表 武田)

市役所1階での放映作品紹介

題名	対象	内容
生命ある限り	一般向け (ドキュメンタリー49分)	1945年、広島と長崎に原子爆弾が落とされた。その破壊力の大きさはいうに及ばず、生き残った人々の人生をも、大きく狂わせてしまった。被爆者は、それぞれ形は違っても厳しい現実と対峙して生きてきた。だから、被爆者が当時を語るとき、その頬に涙が伝う。60年以上も過ぎたというのに…。その涙の意味を理解して欲しい。
つるにのって	青少年向け (アニメーション27分)	小学6年生の元気な少女とも子は、夏休みのある日、広島原爆資料館を訪れました。とも子は平和公園で不思議な少女と出会いました。その子の名前はサダコ。サダコの案内でとも子の不思議な不思議な冒険が始まります。
ideas for Peace「今を生きる者たちへ」	青少年向け (17分)	被爆60年・戦後60年にあたり、被爆体験が風化されないよう、高校生や大学生など次の時代を担う若者に、原爆の悲惨さや被爆者の苦しみ、不安を伝え、平和を考えていただくことを主なねらいとして、千葉県が助成・協力し、千葉県原爆被爆者友愛会が企画・制作したものです。
はだしのゲン	青少年・一般向け (アニメーション90分)	「戦争のバカたれ！」ひとりぼっちのわんぱくゲン。駆けよ、生きぬけ、困難にめげず！思わず熱い涙が流れます。戦争を知らない世代から圧倒的な反響を呼ぶ感動の映画。
はだしのゲン2	青少年・一般向け (アニメーション90分)	1983年に公開された『はだしのゲン』の続編。原爆の爪痕の残る広島市で、被爆の後遺症と闘いながら、明るく前向きに生きていこうとするゲンと、親を失いみなし子になってしまった少年らとの心の交流を描く。